

令和3年度 第1回支援コーディネーター全国会議
実績報告会

令和3年6月23日（水）

山梨県の取り組み

山梨県高次脳機能障害者支援センター

支援コーディネーター 平原由梨子（作業療法士・社会福祉士）

支援コーディネーター 三澤 知恵（臨床心理士・公認心理師）

（医療法人銀門会甲州リハビリテーション病院）



甲州リハビリテーショングループ



グループ理念
「心をこめ 保健・医療・福祉で 地域に貢献」

当グループは

山梨県笛吹市を拠点として、

■医療法人銀門会

甲州リハビリテーション病院

甲州ケア・ホーム

■社会福祉法人寿ノ家

■株式会社サンライフ寿

の3法人で構成されています。

山梨県内各地で

リハビリテーションを中心とした
各事業を展開しています。

甲州リハビリテーション病院 施設概況

■病床数：180床 【内訳】一般病棟46床（障害者病棟），回復期リハビリテーション病棟134床

■診療科目：リハビリテーション科・内科・神経内科・外科・整形外科・循環器内科・脳神経外科・
リウマチ科・精神科・歯科

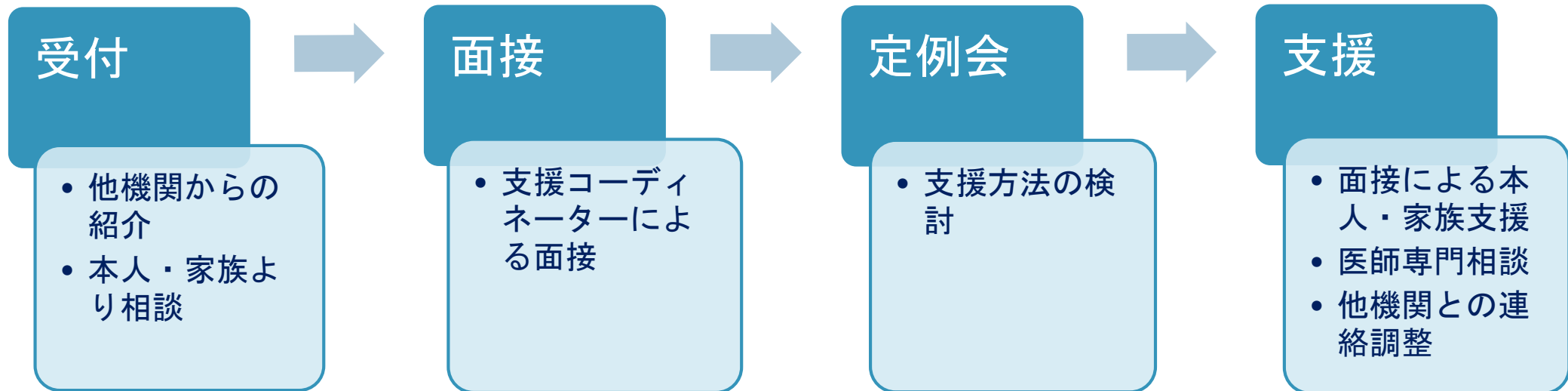
■施設基準等：

【入院料】 回復期リハビリテーション病棟入院料 1
障害者施設等入院基本料 10：1

【リハビリ】 運動器リハビリテーション（Ⅰ）
脳血管疾患等リハビリテーション（Ⅰ）
呼吸器リハビリテーション（Ⅰ）
廃用症候群リハビリテーション（Ⅰ）
がん患者リハビリテーション



センターにおける個別支援の流れ



当事者・家族・支援者間における
課題共有

スタッフ間における
課題共有

スタッフ間の情報共有方法

定例会

- 毎週木曜日 13:10~13:30
- 情報共有, 確認, 第一木曜は事例検討会開催

月例会

- 毎月第二木曜日 13:10~14:00
- 月例報告, 事業進捗確認, 検討事項等

ツール

- 社内LANや社内メールの活用
- 貸与スマホによる通話・チャット, Zoom 他

山梨県高次脳機能障害者支援センター 活動状況

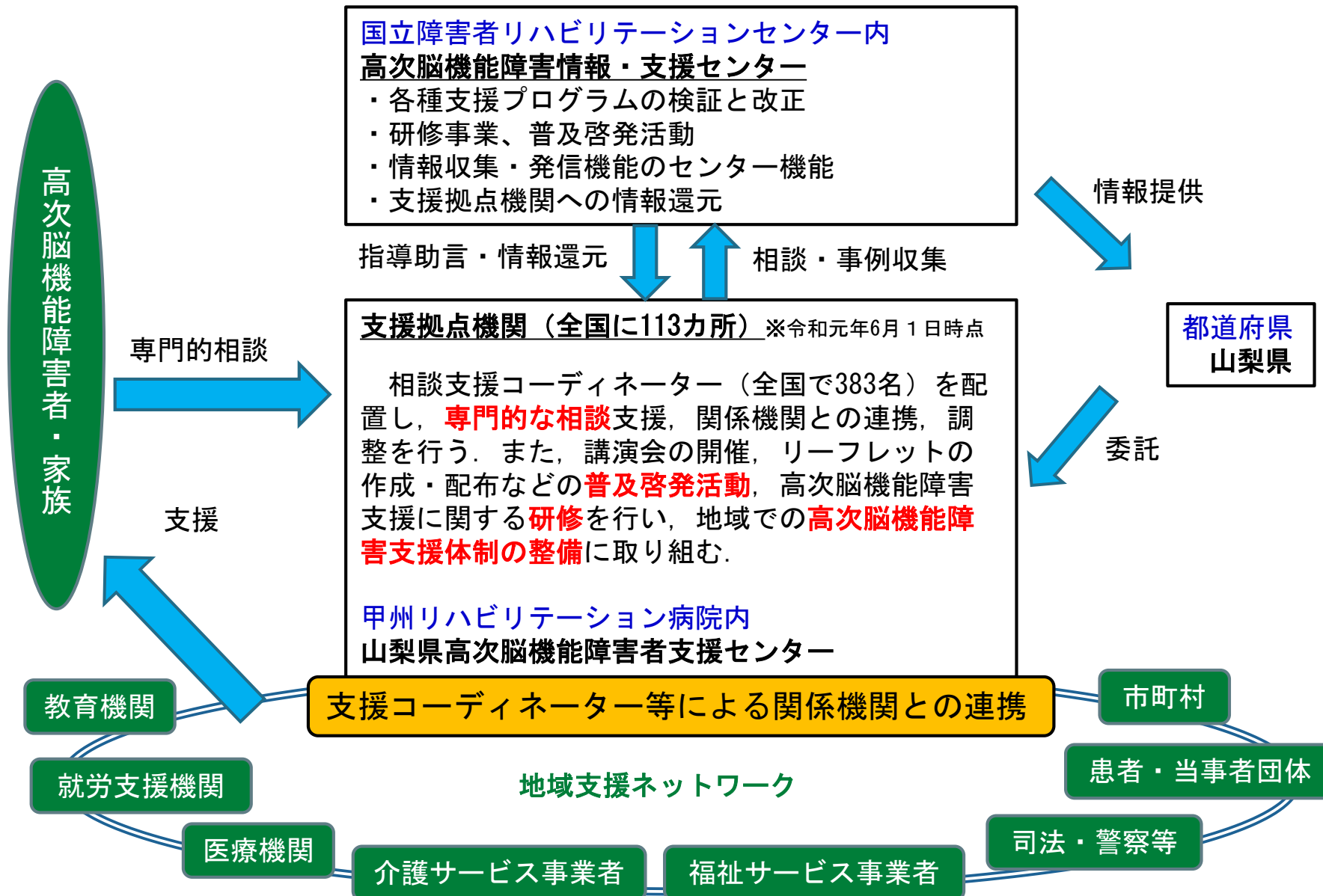
山梨県高次脳機能障害者支援センター

《支援拠点事業の目的と内容》

- ① 専門的な相談支援
- ② 医師による専門的相談
- ③ 普及・啓発
- ④ 関係機関との支援ネットワークの充実

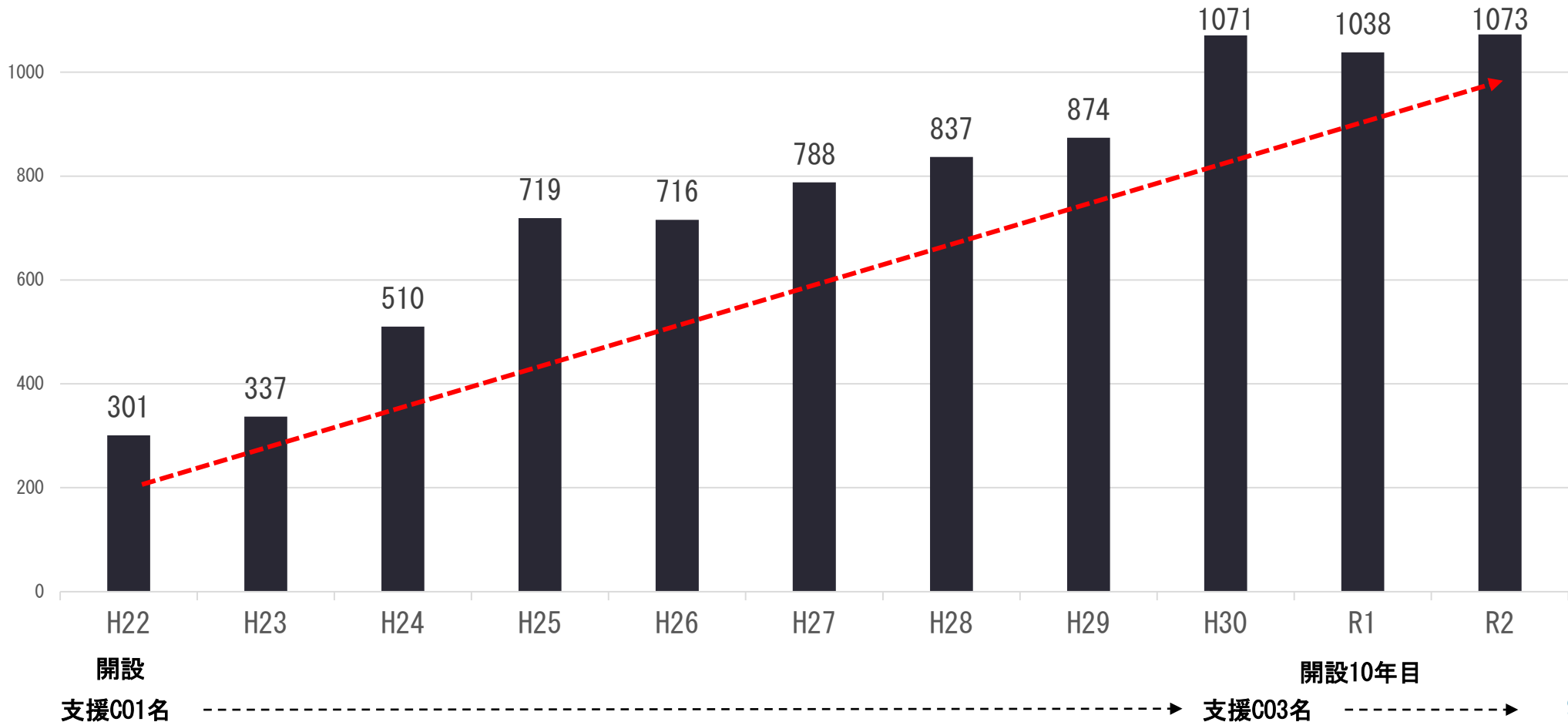
(山梨県高次脳機能障害者及びその関連障害に対する支援普及事業実施要項)

山梨県高次脳機能障害者支援センター（山梨県委託事業）



延べ相談件数（平成22～令和2年度）

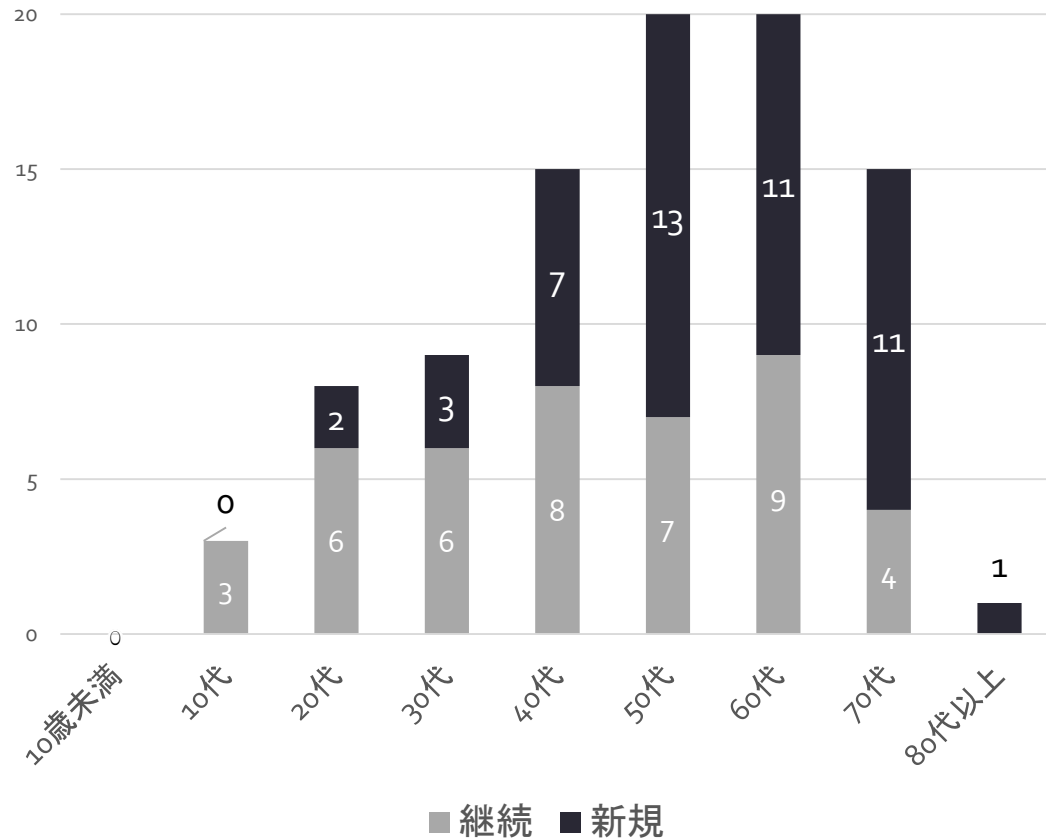
方法：電話，面接，訪問，文書・メール，医師専門相談，他機関連携



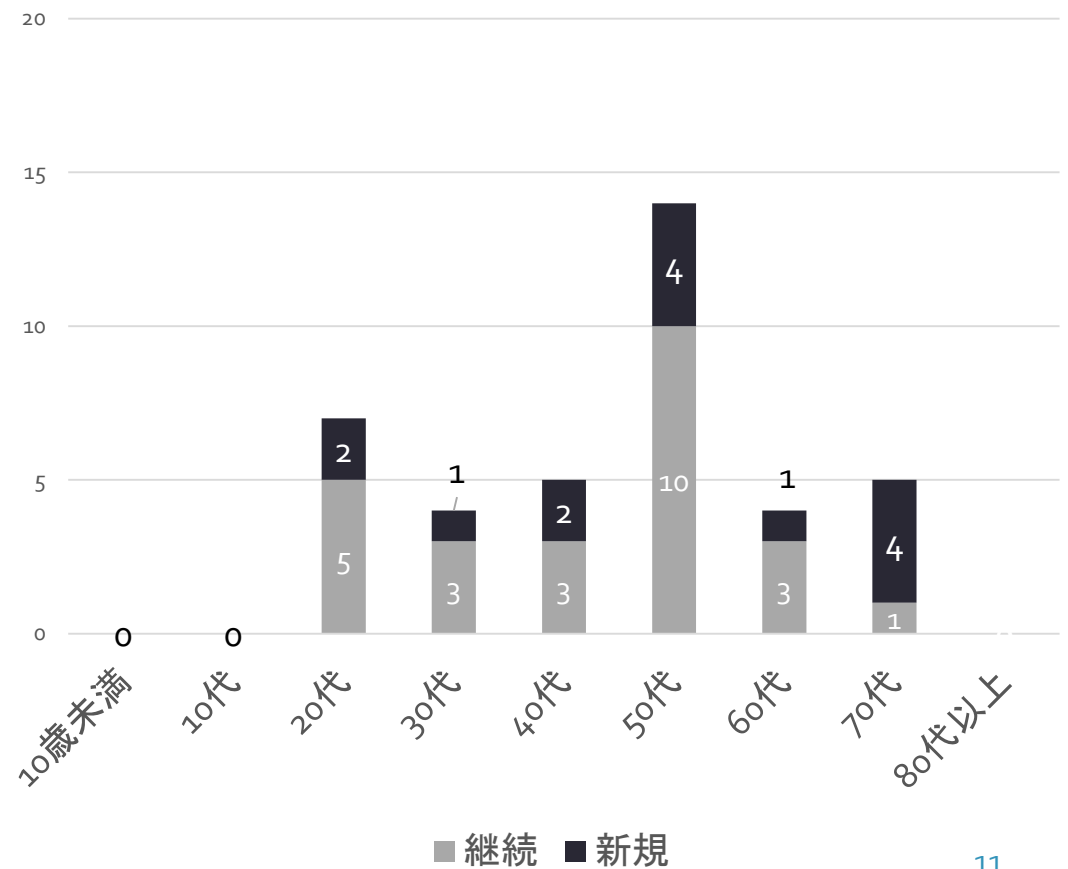
令和2年度の実績

年齢・男女別（実人数131名、うち新規63名）

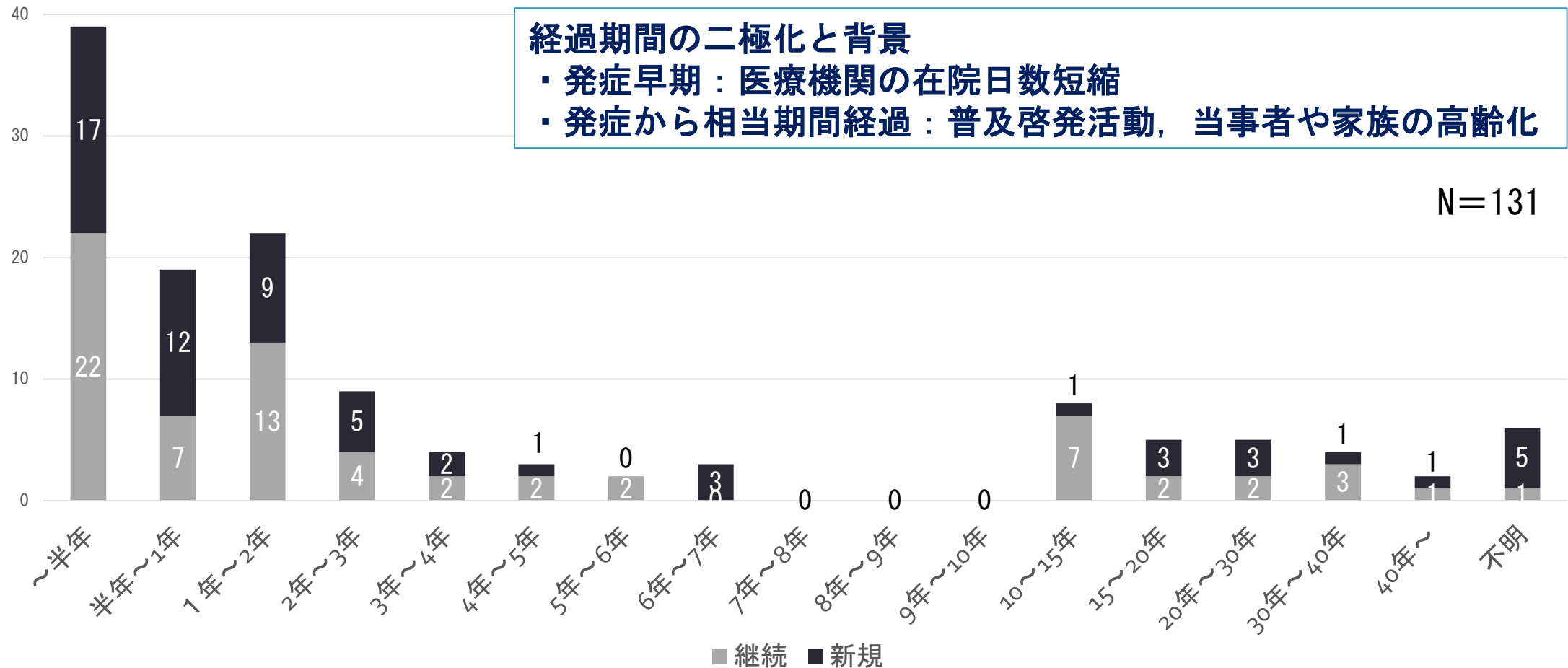
男性（継続・新規） 91名



女性（継続・新規） 39名



発症から相談までの経過期間



普及啓発活動

- ホームページ開設

<https://www.krg.ne.jp/rehabili/koujinou>

- リーフレット, **支援マップ, 支援ガイドブック**

- 講演会開催

- 山梨県福祉保健部健康増進課 公式Twitterより配信

- 甲州リハビリテーション病院

地域包括ケア推進部 公式Facebookグループより配信



支援ガイドブック作成（令和2年度）

- **ワーキング・グループ**と協力して作成.
- 診断基準，主要症状及びその対処法.
- 標準的支援やリハビリテーションの流れ.
- 各種相談窓口や利用可能な制度.
- **支援マップ（医療機関）**も改訂し掲載.
- **ホームページ**掲載，**初版は印刷・配布.**

作成にあたり，複数の支援拠点機関にご協力いただき，ありがとうございます



講演会（令和2年度）

- 感染拡大を鑑み、**同日程でオンライン開催に変更。**

- テーマ：

山形県高次脳機能障がい者支援センターの活動から、
個別性を大切にした生活支援

～社会復帰トレーニング教室「暁才」の挑戦～

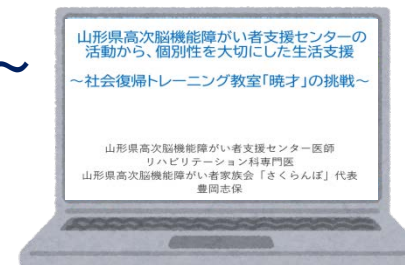
- 講師：

豊岡志保先生

山形県高次脳機能障がい者支援センター医師 リハビリテーション科専門医

山形県高次脳機能障がい者家族会「さくらんぼ」代表

山梨県高次脳機能障害者支援センター



主催：山梨県高次脳機能障害者支援センター・山梨県
令和2年度講演会

テーマ：
山形県高次脳機能障がい者支援センターの活動から、
個別性を大切にした生活支援
～社会復帰トレーニング教室「暁才（ぎょうさい）」の挑戦～

全国でも珍しい、山梨県独自事業の通所教室の実践やご経験を踏まえお話しいただきます。

日時 令和2年11月27日（金） 14：00～16：20
会場 ZOOMウェビナーによるオンライン開催
対象 県民一般、市町村関係者、支援者など（定員500名）
参加 無料（事前登録が必要です） ※申込期限11月25日（水）
※視聴にかかる通信費等は、参加者（視聴者）の方のご負担となります。


講師 豊岡志保先生
（元・山形県高次脳機能障がい者支援センター長、リハビリテーション科専門医）

13：50 参加者ZOOM入場開始
14：00 開会（事務連絡・スケジュール説明、主催者挨拶、当センター活動紹介、講師紹介など）
14：30 講演会
講演の途中で休憩時間を取る予定です。
講演の後、講師による質疑対応を行います。
16：20 閉会（アンケート周知・参加者ZOOM退出）

【講演会登録方法】

- ①講演会当日に視聴するパソコン（orスマートフォンorタブレット端末等）をご用意ください。
- ②右記QRコード又は下記URLより、「ウェビナー登録」画面で必要事項を登録します。
https://zoom.us/join/register?wn_dhgH_ZABTTO6SSKQgBAAQ
- ③登録済みメールアドレスに「登録完了のお知らせ」確認メールが自動送信されます。
★講演会当日の入室方法、事前の「入室テスト」用URL（必要な方）も
明記しておりますのでご確認ください。
★当センターホームページより、事前に補足資料をご確認ください。
山梨県高次脳機能障害者支援センターURL <https://www.krg.ne.jp/rehabilitokujinou.html>
「講演会開催イメージ図」「Zoomウェビナー使用方法マニュアル」「豊岡先生ご講演抄録」
※講演会当日につきましては「Zoomウェビナー」の操作に関するご質問への対応は致しかねます。
- ④講演会当日に、③の確認メールに記載の【ここをクリックして参加】より、ご入室ください。
安定した通信環境での視聴を推奨いたします。

【お問合せ先】
山梨県高次脳機能障害者支援センター（甲州リハビリテーション病院内）
TEL：055-262-3121（代表）
E-Mail：koshu.hbd@krg.ne.jp 担当：岩間・平原・三澤



【登録用QRコード】

支援手法に関する研修（令和2年度）

関係団体への研修講師派遣

- デイサービスセンターきぼう富士川事業所
職員学習会（参加者8名）
- みんなの家つる（小規模多機能型居宅介護事業所）
職員学習会（参加者10名）
- 笛吹市東部長寿包括支援センター
地域ケア会議 助言者（参加者14名）

地域支援ネットワークの充実

「既存ネットワークを活かし有効に活用する」

「普及啓発，研修，相談支援を通じ地域支援ネットワークの整備に取り組む」

【主な取り組み】

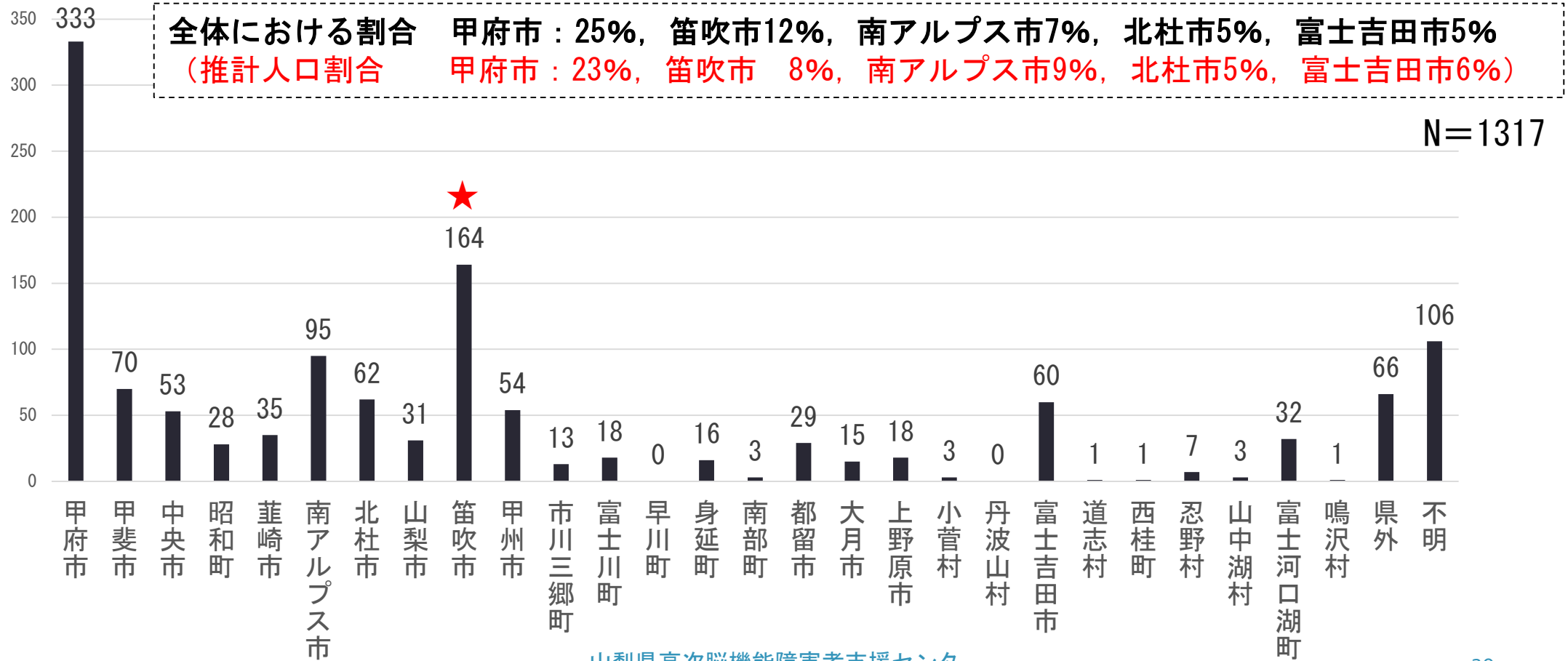
- 個別支援事例を通じた具体的な支援の連携
- 地域自立支援協議会への参加
- 専門職職能団体等への協力要請
- （相談支援体制整備事業）圏域マネージャーとの連携
- 関係機関（県，市町村，新聞社等）への協力要請

その他（令和2年度）

- 関東甲信越ブロック・東京ブロック合同会議 幹事県
初のZoom会議形式開催
- 山梨県高次脳機能障害支援ネットワーク連絡協議会
初の書面開催

サテライト相談窓口事業

市町村別 相談実人数 (平成22～令和2年度の合計)



今後に向けた相談支援の検証の必要性

- 山梨県は、支援拠点機関を県土中央部に1か所設置。
- 相談者数の市町村によるばらつきがある。
- 絶対数は、近隣に多く、遠方エリアに少ない。
- 電話、面接（来所・訪問）、メール・文書による支援。
- 活動する中で、各地の潜在当事者が相談につながる。

サテライト相談窓口事業開始の経緯

- 令和元年度山梨県高次脳機能障害支援ネットワーク連絡協議会にて報告.
- 切れ目のない相談支援体制整備を目指す中,
 - 「相談実績のない地域にも、潜在的な相談支援ニーズが存在する」
 - 「要因の一つとして、物理的距離があること」
 - ➡検証するべく、令和2年度の当センター事業として実施が決定.
- 期間：数年間の実施.
- 事業成果：今後の相談支援のあり方の検討材料とする.
- 事業準備：ワーキング・グループの発足、支援ガイドブック作成と共に.

サテライト相談窓口（令和2年度）

- 相談実績が少なく物理的距離があるエリア。
- 各エリアの保健所を置く県合同庁舎内会議室。
- 4エリア×各3回，計12回。
- 支援コーディネーターの派遣，相談会開催。
- 県及び当センターホームページ掲載。
各市町村広報誌掲載。
（県独自事業）圏域マネージャーによる発信。

令和2年度 参加・相談 無料

山梨県高次脳機能障害者支援センター
サテライト相談窓口を開設します

事故や頭部のけが、脳卒中などのあとに生じる高次脳機能障害（こうじのうきのうしょうがい）に関して、支援コーディネーター等が相談に応じます。
当センターまで距離が遠く来所相談が困難な地域を対象として実施します。
ミニ講座のみの参加や、エリアを越えた参加、峡中エリアや峡東エリアの方の参加も可能です。お気軽にお立ち寄りください。

《会場・日時》

- ◆ 峡北エリア：北巨摩合同庁舎102会議室
4月15日（水）、8月19日（水）、12月16日（水）
- ◆ 富士北麓エリア：富士吉田合同庁舎
5月27日（水）2階大会議室
8月26日（水）、10月28日（水）3階中会議室
- ◆ 峡南エリア：南巨摩合同庁舎2階
6月17日（水）A会議室
10月21日（水）、2月17日（水）B会議室
- ◆ 東部エリア：大月市総合福祉センター3階研修室
7月15日（水）、9月16日（水）、11月18日（水）


《内容・スケジュール》 ※各回共通

- 13：45～ 受付
- 14：00～14：30 高次脳機能障害に関するミニ講座
- 14：30～14：40 休憩・相談会準備
- 14：40～16：00 相談会

《相談会の対象》
高次脳機能障害が疑われる方、診断された方、ご家族、関係者、支援者（教員、相談員など）

事前申込は不要ですが、事前にご連絡いただくとスムーズにご案内できます。

【お問い合わせ先】
山梨県高次脳機能障害者支援センター（岩間・平原・三澤）
〒406-0032山梨県笛吹市石和町四日市場2031
（甲州リハビリテーション病院内）
電話：055-262-3121（代表）
FAX：055-262-3727（代表）
Eメール：koshu.hbd@krg.ne.jp
URL：https://www.krg.ne.jp/rehabili/koujinou.html



COVID-19の影響と対応

- 山梨県の緊急事態宣言解除を受け、対応を確認。
感染予防策を取り、計画通りの実施要請あり。
- 内容は規模を縮小し、相談会中心の実施を検討。
- 今後の感染拡大も視野に、オンライン相談も提案したが、
相談者や支援者の速やかな通信環境の整備は困難。

令和2年度は本事業の当初計画に基づいた実施を決定

サテライト相談窓口実績（令和2年度）

エリア・会場	開催日	相談件数・来所者数
【峡北】北巨摩合同庁舎	4月15日, 8月19日, 12月16日	1件・2名
【富士北麓】富士吉田合同庁舎	5月27日, 8月26日, 10月28日	5件・6名
【峡南】南巨摩合同庁舎	6月17日, 10月27日, 2月17日	4件・10名
【東部】大月市総合福祉センター	7月15日, 9月16日, 11月18日	2件・4名

- 相談件数計12件のうち、**当センター相談歴のない初回相談が11件**
- 来所者計22名（内訳：当事者5名，家族3名，支援者14名）

《主な相談内容の傾向》

後遺症診断未確定の方の支援（評価・診断・リハビリテーション，社会資源活用）
回復期リハビリテーション病棟等退院後の支援（就労・運転・精神障害者保健福祉手帳更新）
支援普及事業開始前に受障した方の相談・当事者の高齢化（介護保険の利用検討）

サテライト相談窓口（令和3年度）

- 昨年度同様のエリア・会場・回数・時間
- **事前申込制**
- 相談会とミニ講座の柔軟な開催
(市町村担当者等の**研修機会を兼ねる**)
- 広報活動の強化
チラシ作成・**印刷**
市町村窓口や病院へ配布・**直接周知**

令和3年度 参加・相談 無料
山梨県高次脳機能障害者支援センター
サテライト相談窓口を開設します

事故や頭部のけが、脳卒中などの後に生じる高次脳機能障害（こうじのうきのうしょうがい）に関して、支援コーディネーター等が相談に応じます。
当センターまでの距離が遠く来所相談が困難な地域を対象として実施します。
エリアを超えたご参加や、鉄東エリアからのご参加も可能です。お気軽にお申込みください。

事前申込制です。開催日2日前までにお申し込みがない場合には、開設を中止します。

《内容》
13:45 受付開始
14:00~16:00 個別相談・ミニ講座（ご予約時間に応じて対応いたします）
※ミニ講座は、市町村担当者等の研修機会を兼ねます。

《会場・開催日》

- 東部エリア
大月市総合福祉センター
①6月9日（水）、②12月8日（水）：3階研修室・食堂
③9月15日（水）：6階大ホール
- 鉄南エリア
南巨摩合同庁舎 2階 B会議室（移動は階段のみです）
①7月14日（水）、②9月22日（水）、③1月12日（水）
- 富士北麓エリア
富士吉田合同庁舎 1階 精神保健相談室
①7月28日（水）、②10月13日（水）、③1月26日（水）
- 中北エリア
北巨摩合同庁舎
①8月18日（水）：101会議室
②10月27日（水）、③2月9日（水）：102会議室

【お問い合わせ・お申込み先】
山梨県高次脳機能障害者支援センター（平部・三澤）
〒406-0032 山梨県南都城市石和町四日市場2031（甲州リハビリテーション病院内）
電話：055-262-3121（代表） FAX：055-262-3727（代表）
E-mail：koshu.hbd@krg.ne.jp URL：https://www.krg.ne.jp/rehabili/koujinou

まとめ

- 地域特性を考慮した、柔軟な相談支援体制の検討が必要.
- コロナ禍で、相談者・家族は特に、地域で孤立傾向.
- 改めて、当センターの存在や機能・役割の再周知が必要.

課題

- 切れ目のない支援に向けた、医療機関における協力体制強化
標準的評価・診断・リハビリテーション，診断書作成や地域連携
- 関係機関等への協力要請の継続
- コロナ禍における柔軟な対応と工夫
相談支援：訪問・メール（従来通り），アウトリーチ型相談体制
普及啓発：オンライン講演会，ホームページやSNSの活用
支援ネットワーク：オンライン会議の開催・参加，広報の強化